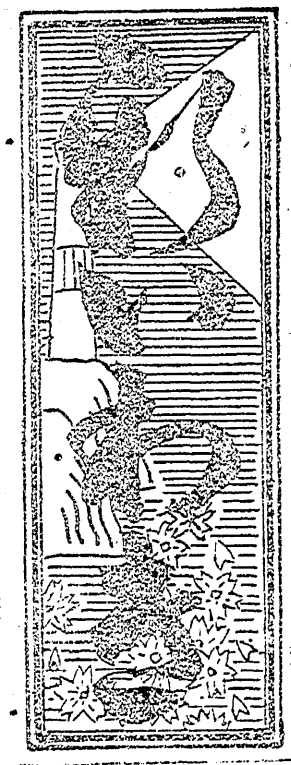
昭和五年三月三十一日 第三種郵便物認可
（日刊）昭和六年九月十六日
新いわき
（水曜日）第四百四十四號
（一）

九月十五日【夕刊】

全郡をおふ吾の戰

平町、各候補の日割

今十五日から廿四日まで



剩すところ旬日に迫つた縣議改選の石城は各派秘策を磨する接戰日と共に深刻化を見せて政友二、民政四、勞大一合計八氏の候補者が擁立する夫々の吾戰に今や全郡を包まれる所となつたが今十五日以降に於ける各派の演說會日割は左記の通りである

▲萩原候補（民）十五日午後六時內鄕村宮、同七時內鄕村內町、十六日午後一時豐間、同六時江名、十七日午後六時小名濱、十八日午後六時玉川、同泉、十九日午後一時高久、同二時夏井、二十日午後一時內鄕宮、同六時內鄕村內町、同六時平町、廿一日午後六時江名、同六時豐間、廿二日午後二時鹿島、同六時飯野、廿三日午後二時植田、同六時小名濱、廿四日午後一時內鄕內町、同六時平町

▲井上候補（政）十五日午後六時神谷小學校、十六日同內鄕村宮磐城劇場、同內鄕村第二小學校、十七日午後六時平町紫樂館、十八日午後六時高久小學校、同夏井小學校、十九日午後三時上小川小學校、同午後六時豐間小學校、同江名町江名座、廿日午後六時小名濱岡公會堂同內鄕第二磐城劇場

▲野崎候補（民）十五日午後六時合戸、同一時永井、十六日午後六時豐間、江名、小名濱、十七日午後六時磐崎、入遠野石住十八日午後六時平、十九日午後六時泉、鹿島、玉川湯本、廿日午後六時赤井、好間、小野田、廿一日午後六時夏井、高久、飯野江名、永崎、廿二日午後六時平、內鄕

移しい國稅の滯納

平稅務署近く財產差押斷行

今月十一日現在の平稅務署管內に於ける昭和五、六兩度に亘る國稅滯納者は所得稅（四〇人）地租（三七六人）營業收益稅（五人）資本利子稅（二人）相續稅（一八人）鑛業稅（六〇人）酒造稅（三人）合計五一四人に達しうち滯納處分中のもの一七七人處分未着手のもの三二三人他稅務署へ引繼照會中のもの十四人に及び滯納總額は三萬三千二百四圓三十四錢であるが同署では近く之等滯納者に對し徹底的に處分をなし公賣をなす筈である

鮫川の鮭漁

活況を呈す

去る七日鮭の初漁があつた。昨は引廻し網、夜はムソ網を鮫川橋を中心に三ケ所に設け漸く漁期に入つて活況を呈してゐる尙水揚相場は目下二十錢であるが日を追つて値下がりを見せてゐる

植田花柳爭議

一先づ落着

但し今後の成行を注目さる

（植田通信）植田料理屋對藝妓屋組合の紛糾は十二日夜に入り關部署長の調停にて三ケ條の條件中二條件は保留し第一の勝代が待合料に料理屋に組入を藝妓屋組合に承認し、但し玉代は組合が今に至るも否として消息

家出した母の歸宅を祈り

二少女が黑髮切つて奉納

近頃稀なる山田村の孝女美談

（植田通信）山田村在鄕軍人分會長綠川萬喜氏は植田町仁井田に雜貨商を營み恩給年金を給與され二男三女を儲けて圓滿な家庭生活を繼けてゐたが去る七月

廿六日の朝、妻きよ（四二）が病氣療養のため那須溫泉へ赴くと稱して謎の家出をしたが同日仙臺局の消印ある手紙が悲しき文字に綴られて配達された

永々御世話樣になりました、病氣が思ふ樣でなく出た日を命日として諦らめて下さい……

之を見た一家の驚きは云ふ許りなく綠川氏は直ちに出役して局を調査し各警察署に捜索方を願ひ出たが今に至るも消息なしとして消息

キの字青年

八幡神社に浮れ出る

十四日午後十時半ごろ平町字四丁目地內を徘徊する青年の擧動が不審なので平署員が本署に引致取調べると右は好間村大字上好間字小館石井德次郎（二六）と云ひ些か精神に異狀あり監禁中の者であるが八幡神社の祭禮について云ふ所に出したものと判つたので家人を呼び出して引き渡した

合の今後の成行は注目される

男子運轉手の戰線異狀あり

女運轉手出現？

平町材木町附都さだ子さんは目下平町四軒町製磯（二三）は自動車學校に綴學中であるが自動車運轉手として斷せん婦人職業戰線の尖端を切るべく今十五日平署を通じて免許證を隣方を縣へ申請したと云ふから之が許可の曉には男子運轉手も些か恐慌を免れまいと同業者間に噂專らである

湯本上水道進捗

鐵管埋設工事着手のため

道路專用許可を縣へ申請

湯本町上水道工事は着工以來順調に進捗してゐるが小工事のため同町大字湯本町字三國三三の二地先より內鄕村大字綴字堀坂一三〇地內に至る延長一、二三五間五分、巾三尺五寸の道路專用許可方を縣へ申請したが許可の一日も早からんこと石工費は二六、九四〇圓で着工の日より八十日間で竣工の豫定であるが關係者は泉町長は今十五日平土木監督所を通じて配水鐵管埋設工事のため同町大字湯本町字三國三三の二地先より內鄕村大字綴字堀坂一三〇地と云ひ今年三月から双葉郡刈野村大字室原農熊本巳之助方に働き去る十二日前記の通り許可を縣へ申請したが廿八圓の手當を貰つて北海道に居住する妻子の許へ戻る所であつたが久しぶりで逢ふ妻子に土產の一品も餘計に買ひたいがそれには所持金が少し足りぬとて身を乞食に落して一錢二錢の金を願つてゐたものと判り所員もいたく同情して放免

乞食

大金を懷中する乞食

——調べて見れば——

四日午前十一時ごろ夏井

町村自治と森林經營（古）

HA生

森林と降雨量、森林はその附近の降雨量を增すと云はれる。一方には森林の邊の濕つた空氣を吹き去られぬ樣に林のない土地よりも雨が多いのである

森林と降雹、森林は降雹を少なくするものだと云はれるが元來雹なるものは空氣の濕りを增すと同時に樹の梢は凝縮機の作用をなして降雨を促がすから雹の時は最初白い雲が大空に浮動するのを見るであらう。之れは俗に氷雲と云ふ細く細かな氷晶の重なつたものである雲塵へ地表の空氣が過度に熱せられて非常な速さで昇つて行く其の際からまた濕つた空氣が急ろしい勢ひで押し寄せると云はれる

森林と降雹、森林は降雹の寒さを少なくするものだと云はれるが元來雹なるものは空氣の溫度の劇しい變化によつて生ずるもので降雹の時は最初白い雲が大空中もまた濕つた空氣を通り抜けて漸次大粒なものになつて降下するのである此の氷塊が降つて來る途中に於ける氷塊が降つて來る途中もまた濕つた空氣を通り抜けて漸次大粒なものになつて降下するのである此の

秋播甘藍の栽培法(一)

石城農試分場　矢ケ崎技手

甘藍は我が國に於ける蔬菜の中でも比較的栽培の歴史は新しいが重要なもの丶一ッに數へられて居るものである、鹽漬、味噌漬、酢漬或は刺身、洋食類のつま物として盛んに利用されてゐるものである、醫學的價値としては鐵分を含有し淨血の作用をなし敗血病に効能があると謂はれてゐるその外ヴィタミンABCを相等に含有してゐるものである、次に秋播甘藍の栽培法を述べて見やう

一、氣候、土壤、甘藍は現今では品種の改良栽培技術の進歩に依りて内地では大低の所で栽培される樣になつてゐるが本來の性質は冷涼で且つ幾分濕潤なる氣候を好むものである、其れ故に優品は北海道東北方面の如き冷涼なる地方に產せられるを見るのである又秋播甘藍が概して秋播甘藍に比して優品がないも以上の原因によるものである

土壤は肥沃で排水の良好な粘質壤土又は砂質壤土で適當に濕氣を含有してゐる所に適してゐる特に中生種晩生種は前者が好く早生種は後者が適してゐる砂土の如き乾燥地では結球は早い

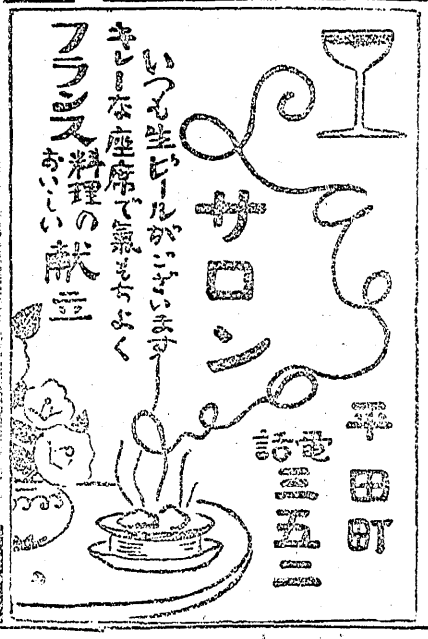
が大球を得る事が困難である

恐怖時代の
動脈硬化症
豫防及治療
新藥
アイロニー錠
試用二圓
定價中六圓
大甘圓
發賣以來
白熱的に
歡迎せらる
特約店
山野邊藥局
平町五丁目

スペイン　G.H.N元詰
甘味葡萄酒
ゴルフポートワイン
〒1.10
御婦人の方には少し水を加へて
召し上るとそう一味風味一そう佳良です
(三電)西村屋藥舗(平二)

お醬油は……ヤマフル
醬油　味噌
たひら正宗
鰹節食料品
醬屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部一〇番)
本店二七〇番

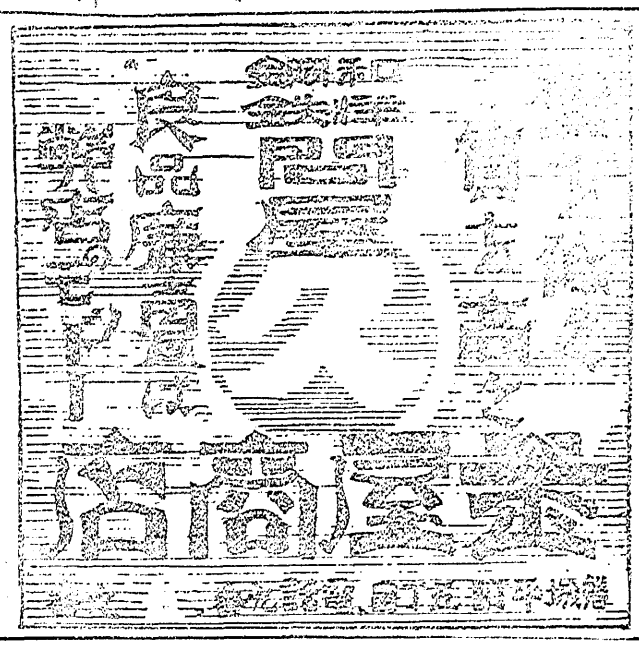
更に大々改造
食堂の新裝美
全部ソファーに改めました
サービス百パーセント
お御意のまゝに
ゆつくりと御利用下さい
御調理は總てお美味しくお安く
カフエー　タヒラ
平町驛前
電話六二〇番



内科
小兒科
入院
應需
平町南町
大森醫院
醫學士　大森勇
電話二五八番

入院應需
紺屋町
藤沼醫院
平町
電話五〇七番

シゲイア
幾多の治療劑中超然として偉効靈能を有するものは獨り本藥のみ
肺病、肋膜、肺炎カタル等
定價(二圓、四圓、六圓)
平町五丁目角
特約店　山野邊藥局



貴賓品良の草花樣名作
山澤荷入物秋初
伊閑吳服店

牛地に淺色に色彩に
31年秋の新流行の中折帽子を五種のベストプライスプ提供致します……
秋の中折帽子特賣
58
60
80
90
1.30
モリタヤ洋品店
本町丁目出353
烏打帽子
三五、ヨリ
ベーレ
二五、ヨリ

健康長壽の源泉
精の健康
朝日養素
二木、友澤醫學博士の實驗推奬
脚氣、腎臟病、胃腸病、病後の衰弱産前産後、乳なき小兒、運動の過不足、妊婦等に最も大なる効果があります、◇百聞一見に如かず一ヶ月飲んで見て下さい(一合代價六錢)
▲月定一合代金五錢
講崎商店朝日養素部
毎日午前午後二回配達平町新川町二六
平出張所

名譽金牌受領

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平町大工町
電話五九一番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
平町、電話五一三番
院長醫學士高久忠